

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

●日時／6月15日(木) 13:00~16:00

●場所／清水会館 青年集会所

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

総務課 (吉備庁舎)

電話 22-3291

ファクス 52-3210

正しい理解と想像力で

「人権機関有田川」の委員となり、2年目を迎えました。

昨年度のテーマは「平和」。テーマを決めるとき、平和の大切さや当たり前のように感じている日々の幸せがどれだけ尊いものであるかというところを改めて考えさせられました。

それでも、毎日のように差別やいじめなどの人権侵害とも受けとれるニュースが伝えられています。

そんな中、最近よく耳にする「LGBTQ」に関係する映画「彼らが本気で編むときは、」の鑑賞会が1月にありました。この映画は、トランスジェンダーである主人公のリンコと彼女の心の美しさに惹かれ、すべてを受け入れる恋人のマキオ、その姪のトモが共同生活を始め、それぞれの幸せを見つけるまでの日々が描かれています。

私は、この映画が生まれたきっかけに興味を持ちました。ある日の新聞に「LGBTQ」であることを14歳でカミングアウトした息子に「偽乳」を作って送ったというお母さん

の記事が載ったそうです。映画監督である荻上直子さんがその記事から着想を得て、オリジナルの脚本を書き上げ、映画化されました。

もし、私や私の息子たちが同じ立場であつたら…。今までそんなことを考えたこともありませんでした。このお母さんのウィットに富んだ対応は、我が子をきちんと理解しているからこそその行動だと思いました。

実際にこのお母さんは、学校や教育委員会に「息子」の性への理解を求め、「女の子」として学校生活を送れるように取り組んだそうです。

偏見や思い込みではなく、相手をも正しく理解すること、もし自分だつたらと想像することを忘れないようにしたいと改めて学んだ映画鑑賞会でした。

人権機関有田川理事 中峯登志世

※LGBTQとは

性的マイノリティの総称として使われています。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング/クエアの頭文字をとっています。

男女共同参画週間

6月23日(金)～29日(木)

男性と女性が職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけではなく、国民の皆さま一人一人の取り組みが必要です。私たちの周りの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。

令和5年度(2023年度)

「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

無くそう思い込み、
守ろう個性。
みんなのでつくる、
みんなの社会。

令和5年度(2023年度)

人権機関有田川

重点テーマ「命」

人権機関有田川委員から募った意見をもとに、今年度のテーマを「命」に決定しました。